

平成 25 年第 1 回議会定例会 一般質問通告（要旨）

平成 25 年 3 月 7 日（木）

1 良知義廣 議員

	件名 市公式ページとして相互通行型交流サイト「フェイスブック」の導入について
1	(1) 牧之原市は、一方通行型のホームページを公式ページとして活用しているが、相互通行型のフェイスブックを活用して市の情報だけでなく、地域ポータルサイトとして開設していくという。よって、今後、これを主体、核として市民等とのコミュニケーションに移行させていくことを提案する。市長の考えはいかにか。

2 中野康子 議員

	件名 幸福都市実現に向けての取り組みについて
1	(1) 定住人口の拡大を図るため、 ①災害に強いまちづくりをどう進めるのか。 ②土地利用の規制緩和をすべきではないか。
	(2) 交流人口を増すため、商店街の再生、活性化をいかに図るか。また、観光客の集客をどう計っていくのか。
	(3) 誰もが住みやすい、住んでみたいと感じるまちづくりをどう進めていくのか。牧之原市保育所の入所資格の規制緩和を

3 田村兼夫 議員

	件名 田沼意次の実像をもっと発信して、愛郷心の育成を図るべきだ
1	(1) 近年、田沼意次に対する歴史的認識には大きな変化がある。以前の賄賂政治家から、経済活動を活発にし、文化の交流に大いに寄与した偉大な政治家であった、と変化していると考えるが、当局の認識を問う。
	(2) 意次の謝った認識を正し、郷土への誇りをさらに強くし、郷土愛の涵養を図るべきだ。図書館の意次コーナーの設置、小冊子の作成、頒布や講演会の開催などをすべきと思うが、意向を訊く。
	件名 細江 1 号幹線の完成に、障害となっている民家の収用を考えるべきだ
2	(1) 細江 1 号幹線がほとんど完成しているが、一軒の立ち退き拒否で完成していない。今までの経緯を問う。
	(2) 細江 1 号幹線と青池通りとの交差点における過去 3 年間の事故件数を問う。
	(3) 土地収用法の適用に踏み切るべきだと思うが、当局の意向を問う。

4 増田伸三 議員

1	件名	環境変化等への対応努力は
	(1)	地震、津波、原発リスクや「内陸フロンティア構想」などの外部環境変化への対応は
	(2)	高校の再編整備構想統廃合など環境変化への事前対応は
	(3)	外部からの指摘への対応は

5 桑田幸一 議員

1	件名	高齢者福祉対策について
	(1)	肺炎球菌ワクチンの公費助成制度を創設し、高齢者の命と健康を守り、併せて医療費削減を図る対策を。
	(2)	65 歳以上のすべての要介護認定者に「障害者控除対象者認定書」の発行を。
	(3)	在宅介護手当の拡充を。
2	件名	在宅リフォーム助成制度について
	(1)	牧之原市商工会が行う「在宅リフォーム助成事業」に対し、制度拡充の援助を行う考えはないか。

6 本杉光雄 議員

1	件名	津波防災まちづくり計画へ各地区でのワークショップでの市民の意見をどのように反映していくのか。
	(1)	現在各地区で行っているワークショップでの市民の意見をまとめたら、それをどのように市の防災計画へ反映し、国の整備事業へ反映させていけるのか。
	(2)	ワークショップでは、今後整備される予定の国道 150 号バイパスを津波防災対策を取り入れた道路として行ってほしいという市民からの要望もあるが、現状の計画ではなく、嵩上げをし、高盛土構造として、津波の時には、いのち山としても利用できるような計画変更を要望していくつもりであるか。

平成 25 年 3 月 8 日 (金)

7 鈴木正樹 議員

1	件名	市のアレルギー児への対応は如何か
	(1)	各アレルギー症状別の現状把握として、市内小中学校生徒の対象者はどのような状況か。
	(2)	特に食物アレルギーに集約してお訊ねします。 ①学校現場での対応とどのような配慮が必要か。 ②現在の課題は何か。 ③なかでも食べるだけでは症状が出ないのに食べた後に運動すると発症する食物依存性運動誘発アナフィラキシーへの対応はどうしているのか。
	(3)	アレルギー疾患の発症率は増える傾向だと聞き及んでいるが、市長として市民へのアレルギーの予防をどのように取組みを行おうとしているのか。
2	件名	件名 牧之原市の津波防災施策について問う
	(1)	この3月末(24年度末)までに策定される「地区津波防災まちづくり計画」での要望は海岸線5地域から膨大な要望が寄せられると考えるが、どこまで取り込めると考えているのか。全て取り込めるのか。 また、防災を市政の発展の切り口に転換していく必要があると述べたが、具体的にはどういうことか。
	(2)	各自主防災会に投げかけている ①地域防災力の向上への取組み対応と現状の進捗は如何か。 ②津波防災への弱者対応の具体策が見えてこないが、どのように考えているのか。 ③防災の数値予測を公表しているが、国は、予測値の信頼性や限界について簡単に触れているだけで、住民に頑迷な予測値信仰がある限り、自治体や企業はそれに配慮せずを得ない。住民自らが予測結果を読み解く力を身につけ、弾力的な防災・減殺に実現を目指してほしいが、この点どう考えるか。
	(3)	防災監に元陸上自衛隊一佐を採用し、災害時は、災害対応に関する市長の判断を補佐するということだが、具体的にはどのような判断か。

8 鈴木千津子 議員

1	件名	幸福実現都市！牧之原市 合併から8年市政の成果を伺う
	(1)	これまで7年の市長在任中やって良かったと思うことは何か。
	(2)	津波防災設備の建設等の事業費28億数千万円と試算された。大変大きな事業であり、合併特例債からの支出を予定しているが、合併特例債の残高はいくらあるのか。また、今後も合併特例債の制度を活用して行くのか。
	(3)	市長の掲げる「幸福実現都市！」の実現に向け、現在の牧之原市の財政はその実現に足りうるものであるとお考えか。

9 太田佳晴 議員

1	件名	農業用ため池の耐震化について
	(1)	農業用ため池の耐震化の必要性についてどのように考えているのか。また、市内で耐震化の整備が必要と思われるため池はどのくらい存在しているか。
	(2)	ため池が決壊した場合の浸水域や深さを示す、ため池ハザードマップを作成する必要性についてどのように考えるか。
	(3)	農業用ため池の耐震化を、都市防災事業計画に組み入れる必要性についてどのように考えるか。

10 赤堀 勲 議員

1	件名	海岸線15kmの検証を その結果を国、県に要望を
	(1)	沖合にあるテトラポットによる防潮堤の決壊の危険性について
	(2)	高度経済成長期に築造された防潮堤の補強及び嵩上げの必要性について
	(3)	萩間川河口東側の防潮堤は見てくれの良い構造となっているが、あれで防潮堤の役が果たせるか。

11 大石和央 議員

1	件名 障害者支援施策について	
	(1)	障害者総合支援法の施行に伴って、市の障害者支援はどのように推進されるのか。
	(2)	法は障害者の範囲に難病等も加えるとしているが、市内の現状とその支援策について。
	(3)	障害者程度区分が障害者支援区分に変更されるが、具体的に何がどのように変わるのか。
2	件名 誰もが「住み続けたいと思えるまち」とは何か	
	(1)	市長は施政方針において、誰もが「住み続けたいと思えるまち」づくりに触れているがその具体と、これをどのように市基本構想や実施計画に反映させていくのか。
	(2)	市長のまちづくりの前提は安心安全の防災対策であり、その要は浜岡原発の廃止にあると推察できる。その方法論について伺う。